

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

「パインブリッジ・ニューグローバルファンド〈毎月分配タイプ〉」は、このたび第149期の決算を行いました。当ファンドは主として高格付けの世界主要国（日本除く）の国債および新成長国の株式への投資を通じて、安定した収益の確保を図るとともに、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成対象期間もこれに沿った運用を行いました。ここに、その運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当作成期の状況

基準価額（当作成期末）	7,530円
純資産総額（当作成期末）	270百万円
騰落率（当作成期）	1.8%
分配金合計（当作成期）	60円

(注) 騰落率は収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算しています。

当ファンドは、信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記〈お問い合わせ先〉ホームページの「基準価額一覧」または「ファンド一覧」から当ファンドのファンド名称を選択することにより、当ファンドのページにおいて運用報告書（全体版）を閲覧およびダウンロードすることができます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。運用報告書（全体版）をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

交付運用報告書

パインブリッジ・ ニューグローバル ファンド 〈毎月分配タイプ〉 〈愛称：メインアベニュー〉

追加型投信／海外／資産複合

第25作成期

(2019年5月18日～2019年11月18日)

第144期（決算日：2019年 6月17日）

第145期（決算日：2019年 7月17日）

第146期（決算日：2019年 8月19日）

第147期（決算日：2019年 9月17日）

第148期（決算日：2019年10月17日）

第149期（決算日：2019年11月18日）



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
〒100-6813 東京都千代田区大手町一丁目3番1号 JAビル

お問い合わせ先・・・投資信託担当

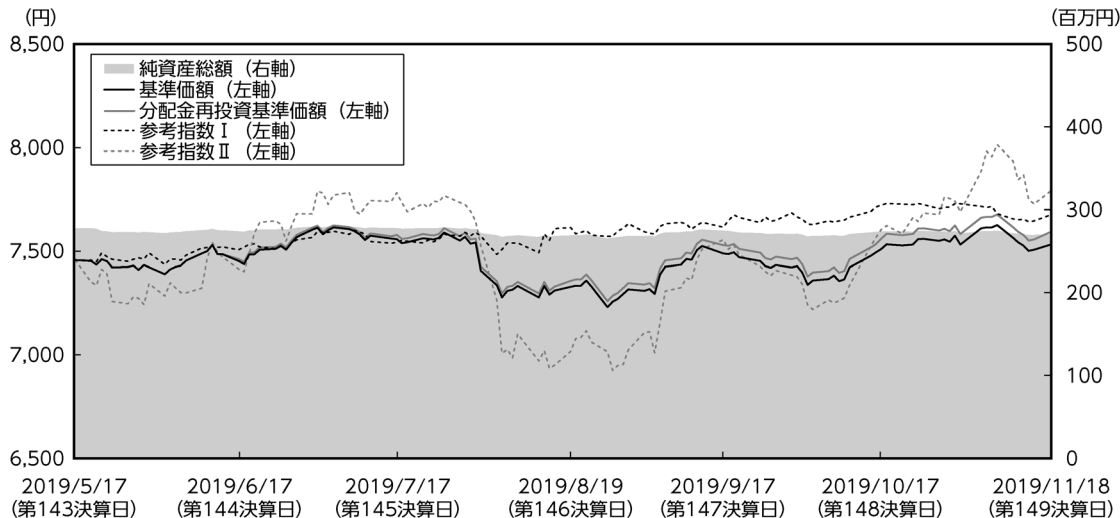
電話番号／03-5208-5858

(受付時間／9：00～17：00（土、日、祝休日を除く）)

ホームページ／<https://www.pinebridge.co.jp/>

運用経過 (2019年5月18日～2019年11月18日)

基準価額等の推移



第144期首： 7,457円

第149期末： 7,530円

(作成対象期間中の既払分配金：60円)

騰落率： 1.8% (分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

※参考指数 I はFTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)、参考指数 II はMSCIエマージング・マーケット・インデックス(円ベース)です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。作成期首の基準価額をもとに指数化しています。

基準価額の主な変動要因

<パインブリッジ・ニューグローバルファンド<毎月分配タイプ>>

当ファンドの投資対象である「パインブリッジ先進国債券マザーファンド」と「パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ」の基準価額が上昇したことが主なプラス要因となり、当ファンドの基準価額は上昇しました。

<パインブリッジ先進国債券マザーファンド>

債券市場では、先進国金利は前作成期末比で低下しました。為替市場では、保護主義の台頭に対する懸念によるリスクオフセンチメントの台頭により、米国ドル円及びユーロ円は作成期首より下落しました。その後は横ばい圏内の推移が続きましたが、8月に入り保護主義の台頭に対する懸念や中国人民元をめぐる動向を背景にさらに下落しました。作成期末にかけてはやや持ち直しましたが、前作成期末比では下落しました。

<パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ>

新成長国通貨がまちまちの動きとなった一方で、新成長国株式市場が上昇したことが主なプラス要因となり、当ファンドの基準価額は上昇しました。

1万口当たりの費用明細

項目	第144期～第149期 (2019.5.18～2019.11.18)		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	54円	0.723%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は7,472円です。
(投信会社)	(26)	(0.350)	委託した資金の運用、交付運用報告書等の作成、ファンドの監査等の対価
(販売会社)	(25)	(0.334)	交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.039)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料 (株式)	2 (2)	0.026 (0.026)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	1 (1)	0.011 (0.011)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用) (その他)	19 (19) (0)	0.252 (0.251) (0.002)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転に要する費用
合計	76円	1.012%	

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

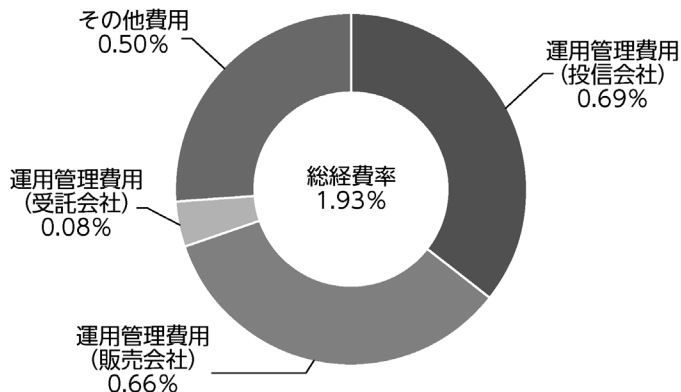
また、各項目ごとに円未満は四捨五入しています。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※消費税は報告日の税率を採用しています。

<参考情報> 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除きます。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.93%です。



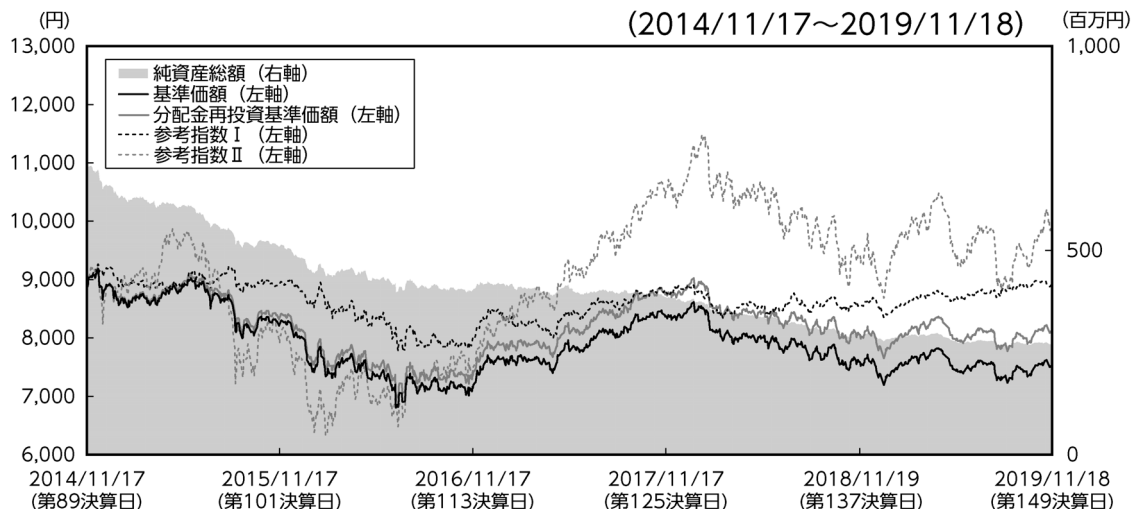
※費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

※各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値です。

※上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。2014年11月17日の基準価額をもとに指数化しています。

※分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各お客様の損益の状況を示すものではありません。

※参考指数 I はFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）、参考指数 II はMSCI エマージング・マーケット・インデックス（円ベース）です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。2014年11月17日の基準価額をもとに指数化しています。

	2014/11/17 決算日	2015/11/17 決算日	2016/11/17 決算日	2017/11/17 決算日	2018/11/19 決算日	2019/11/18 決算日
基準価額 (円)	8,909	8,239	7,138	8,378	7,584	7,530
期間分配金合計 (税込み) (円)	-	120	120	120	120	120
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	-	△6.2	△11.9	19.2	△8.1	0.9
参考指数 I の騰落率 (%)	-	0.3	△10.4	9.8	△2.7	4.3
参考指数 II の騰落率 (%)	-	△11.2	△5.1	39.9	△10.2	5.1
純資産総額 (百万円)	698	509	401	385	292	270

※参考指数 I はFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）、参考指数 II はMSCI エマージング・マーケット・インデックス（円ベース）です。基準価額への反映を考慮して前営業日の値を採用しています。

※参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。

●参考指数に関して

参考指数 I のFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCが算出および公表する世界主要国の国債市場の合成パフォーマンスを表す指数です。参考指数 II のMSCI エマージング・マーケット・インデックス（円ベース）は、MSCI Inc.が開発したエマージング諸国の株式市場の合成パフォーマンスを表す指数です。

投資環境について

作成期首より保護主義の台頭に対する懸念、欧州議会選で反体制派が台頭したことを背景に金利は低下基調で推移しました。その後横ばい圏内の推移が続きましたが、8月に入り軟調な経済指標、保護主義の台頭に対する懸念、中国人民元をめぐる動向、香港デモ激化、BREXIT（英国のEU（欧州連合）離脱）に対する懸念やハト派的なECB（欧州中央銀行）高官発言、ハト派的なBOE（イングランド銀行）金融政策委員会によりさらに低下しました。作成期末にかけてはやや持ち直しましたが前期末比金利低下となりました。

新成長国株式市場は小幅に上昇しました。作成期首は米国や欧州での金融緩和策への期待感や米中貿易交渉の進展期待などを背景に上昇しましたが、8月に入り米国が中国に対し追加関税を課すと発表したことをきっかけに米中貿易摩擦懸念が台頭し、市場のリスク回避の動きから軟調となりました。その後は、世界的な景気減速懸念などが嫌気される場面もあったものの、米中貿易交渉の進展期待や世界的な金融緩和期待などにより作成期首比では上昇して作成期末を迎えました。個別国では、ブラジルは景気下支えのための利下げの継続や年金改革法案の承認期待などを背景に作成期中を通じ上昇傾向となりました。

当作成期の為替市場は小幅に円高米国ドル安となりました。8月に米中貿易交渉を巡る不透明感の高まりを背景としたリスク回避の動きにより円高が急激に進行したものの、相対的に堅調な米国経済や米国金利の上昇などを背景に、作成期末にかけては円の上昇幅は縮小しました。また、ユーロも同様な動きとなる中、英国ポンドはBREXITを巡る不透明感から変動が大きくなる展開となりましたが、作成期末時点では12月の総選挙を前に横ばい推移となっています。新成長国通貨は、米中貿易交渉の行方に左右され各国まちまちな動きとなりました。ブラジル・レアルは数十年にわたる年金改革が承認されたことで株式市場は堅調に推移する中、引き続き政治リスクが台頭していることでブラジル・レアル安となりました。

ポートフォリオについて

<パインブリッジ・ニューグローバルファンド<毎月分配タイプ>>

当ファンドは、基本資産配分に従い、作成期中「パインブリッジ先進国債券マザーファンド」に70%程度、「パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ」に30%程度を投資しました。作成期末時点の資産配分比率は、「パインブリッジ先進国債券マザーファンド」70.0%、「パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ」29.9%となっています。

<パインブリッジ先進国債券マザーファンド>

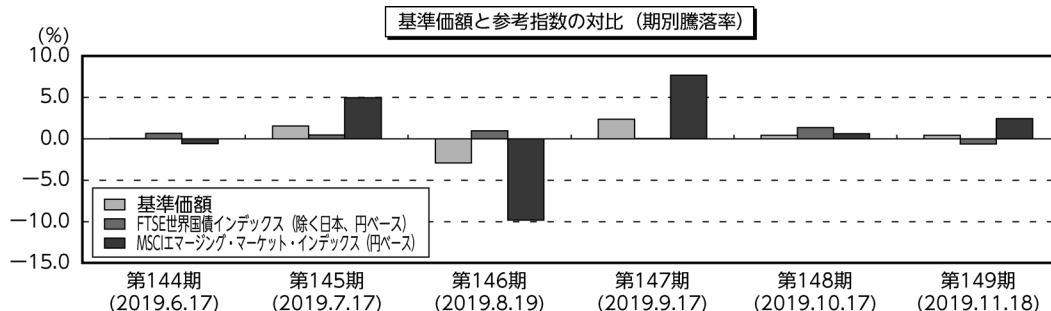
当ファンドは、基本通貨配分（環太平洋圏；米国ドル25%、オーストラリア・ドル15%、カナダ・ドル10%、欧州圏；ユーロ30%、英国ポンド10%、スウェーデン・クローナ10%）に沿ったアロケーションを維持しました。また、通貨のポートフォリオの残存年限別構成においては、直利、終利の両面からバランスのとれたウエイト配分としました。

<パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ>

当ファンドは、中長期的に高い成長が期待できる企業の中から割安な銘柄を選択して投資を行い、作成期中組入比率を高位に維持しました。また、投資対象を国、業種に幅広く分散しています。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金再投資基準価額）と参考指数の騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の収益分配金につきましては、作成期中に受取りました利子・配当等収益を中心に、第144期～第149期それぞれ10円（元本1万口当たり課税前）とさせていただきます。なお、分配に充てなかった収益につきましては、信託財産中に留保し、元本部分と同一の運用を行うことといたします。

●分配原資の内訳

（単位：円・％、1万口当たり、税引前）

項 目	第144期	第145期	第146期	第147期	第148期	第149期
	2019年5月18日～ 2019年6月17日	2019年6月18日～ 2019年7月17日	2019年7月18日～ 2019年8月19日	2019年8月20日～ 2019年9月17日	2019年 9月18日～ 2019年10月17日	2019年10月18日～ 2019年11月18日
当期分配金	10	10	10	10	10	10
（対基準価額比率）	0.134	0.132	0.136	0.133	0.133	0.133
当期の収益	10	10	10	10	10	10
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	978	988	996	1,005	1,009	1,015

※「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」と「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から、それぞれ当期の分配に充当した額の合計を表示しています。なお、「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

今後の市況見通しと運用方針

今後の市況見通し

<先進国債券市場>

米国長期金利は、主要国における緩やかな景気減速、グローバルな金融緩和、保護主義の台頭を巡る動き等を背景に当面レンジ内での推移が継続すると考えています。欧州長期金利は当面中核国に関しては大きく上昇する可能性は限られていると考えています。基本通貨配分に沿ったアロケーションを継続し、為替変動リスクを軽減する方針です。バランスのとれた残存年限別配分を維持するよう努めていきます。

<新成長国株式市場>

米中貿易交渉においては、第1段階の合意が得られたものの、引き続き根本の解決には至っておらず引き続き注視が必要です。一方、米国は利下げに転じ、中国は経済活性化に注力する兆しが見え始めたこと、また、引き続き堅調な雇用環境などに下支えされ今後世界経済は上向く可能性が高いと見ています。しかし、引き続き政治リスクや地政学リスクの動向などを注視しつつ、個別国・個別銘柄の選別に注力していく方針です。

運用方針

<パインブリッジ・ニューグローバルファンド<毎月分配タイプ>>

引き続き、運用方針の基本資産配分に従い、「パインブリッジ先進国債券マザーファンド」に70%程度、「パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ」に30%程度を投資する計画です。

<パインブリッジ先進国債券マザーファンド>

通貨別配分については、基本通貨配分に沿ったアロケーションを継続し、為替変動リスクを低減する方針です。残存年限別配分についても、バランスのとれた構成比を維持するよう努めていきます。

<パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ>

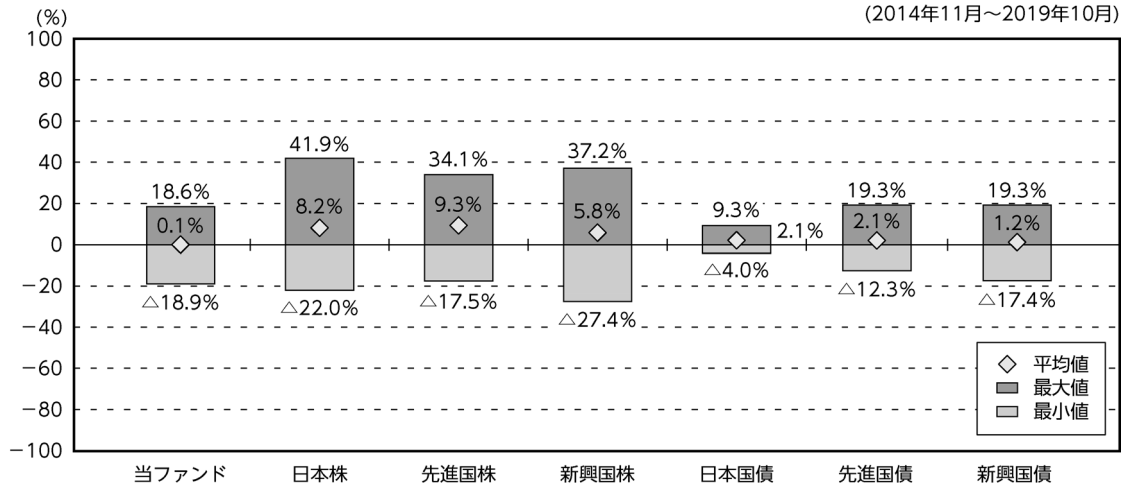
ボトムアップ・アプローチを重視する方針の下、資本効率が高く、不安定な経済状況の中でも成長が見込める企業に焦点を当てて選別投資していく計画です。

運用の基本方針に従い、中長期的な観点から成長性に比べて割安な個別銘柄の選択を重視し、ポートフォリオの構築を行っていきます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	原則として無期限です。	
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> ・主として「パインブリッジ先進国債券マザーファンド」および「パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ」を通じて、高格付けの世界主要国（日本除く）の国債および新成長国の株式への投資を行い、安定した収益の確保を図るとともに、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。 ・「パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ」の運用にあたっては、パインブリッジ・インベストメンツ・エルエルシー（PineBridge Investments LLC）に外貨建て資産の運用の指図に関する権限を委託します。 ・先進国の国債市場に70%程度、新成長国の株式市場に30%程度投資することを基本資産配分とします。 	
主要投資対象	パインブリッジ・ニューグローバルファンド<毎月分配タイプ>	「パインブリッジ先進国債券マザーファンド」および「パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ」の受益証券を主要投資対象とします。
	パインブリッジ先進国債券マザーファンド	世界各国の国債を主要投資対象とします。
	パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ	世界の新成長国の株式を主要投資対象とします。
運用方法	パインブリッジ・ニューグローバルファンド<毎月分配タイプ>	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への実質投資割合には、信託財産の純資産総額の50%未満とします。 ・外貨建て資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	パインブリッジ先進国債券マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建て資産への投資割合には、制限を設けません。
	パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建て資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<p>毎月1回（原則として17日）決算を行い、利子・配当等収益および売買益を中心に、基準価額水準等を勘案して分配金額を決定します。</p> <p>ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p>	

<参考情報> 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



※すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※上記グラフは、2014年11月～2019年10月の5年間における1年騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

※上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）配当込み

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

東証株価指数（TOPIX）配当込みは、株式会社東京証券取引所の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、株式会社東京証券取引所が有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み・円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み・円ベース）は、MSCI Inc.が開発した指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

NOMURA-BPI国債は、野村證券株式会社が作成している指数で、同指数に関する知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属しています。また、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより算出および公表されている債券指数であり、同指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド（ヘッジなし・円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出・公表する指数で、同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ファンドデータ

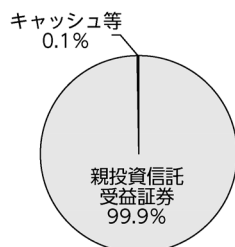
当ファンドの組入資産の内容 (2019年11月18日現在)

●組入銘柄 (組入銘柄数：2銘柄)

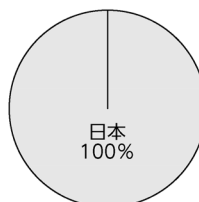
銘柄名	投資比率(%)
パインブリッジ先進国債券マザーファンド	70.0
パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡ	29.9

※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

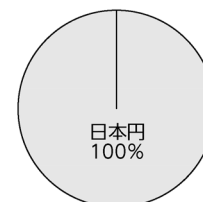
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

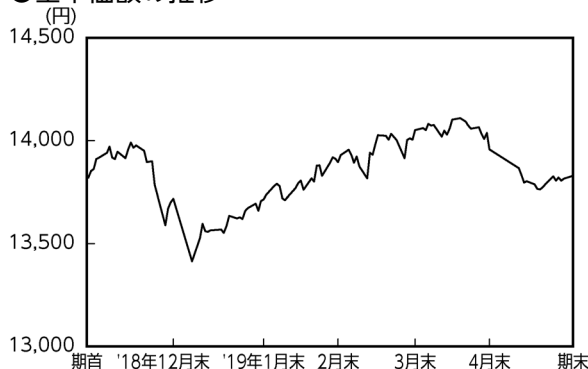
項目	第144期末	第145期末	第146期末	第147期末	第148期末	第149期末
	2019年6月17日	2019年7月17日	2019年8月19日	2019年9月17日	2019年10月17日	2019年11月18日
純資産総額	273,916,539円	277,837,379円	268,930,374円	274,776,448円	273,801,198円	270,451,114円
受益権総口数	367,594,933口	367,606,463口	366,967,886口	366,968,677口	364,615,143口	359,176,950口
1万口当たり基準価額	7,452円	7,558円	7,328円	7,488円	7,509円	7,530円

※当作成期間（第144期～第149期）中における追加設定元本額は31,034円、同解約元本額は13,444,592円です。

組入ファンドの概要

パインブリッジ先進国債券マザーファンドの組入資産の内容（2019年5月27日現在）

●基準価額の推移



●1万口当たりの費用明細

項目	
その他費用 (保管費用)	1円 (1)
合計	1円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものです。なお、費用項目については2ページの注記をご参照ください。

※運用経過については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

●組入上位銘柄

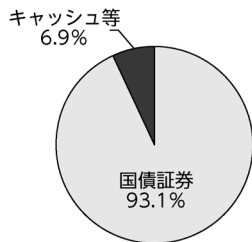
(組入銘柄数：11銘柄)

銘柄名	資産	国	通貨	比率(%)
BUNDESREPUB.DEUTSCHLAND	国債証券	ドイツ	ユーロ	15.3
US TREASURY N/B	国債証券	米国	米国ドル	14.8
FRANCE GOVERNMENT	国債証券	フランス	ユーロ	12.5
CANADIAN GOVERNMENT	国債証券	カナダ	カナダ・ドル	9.5
UK TREASURY	国債証券	イギリス	英国ポンド	9.3
SWEDISH GOVERNMENT	国債証券	スウェーデン	スウェーデン・クローナ	8.8
AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	オーストラリア	オーストラリア・ドル	8.5
AUSTRALIAN GOVERNMENT	国債証券	オーストラリア	オーストラリア・ドル	5.5
US TREASURY N/B	国債証券	米国	米国ドル	4.5
US TREASURY N/B	国債証券	米国	米国ドル	3.9

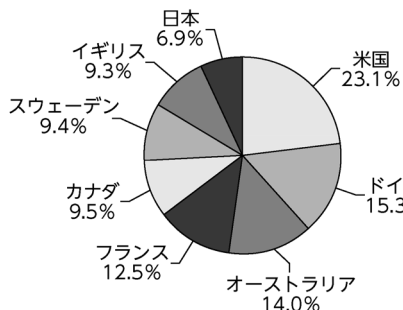
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

※全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

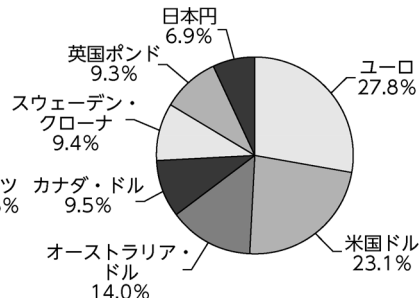
●資産別配分



●国別配分



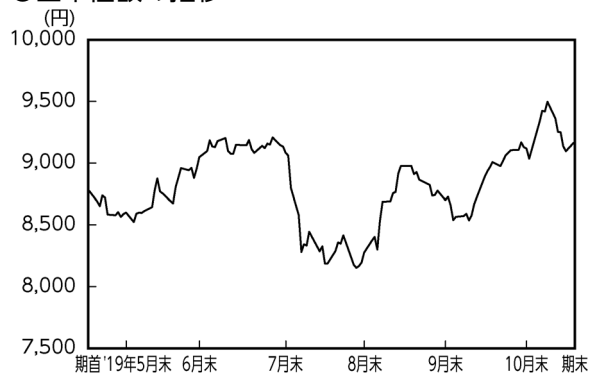
●通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

パインブリッジ新成長国株式マザーファンドⅡの組入資産の内容（2019年11月18日現在）

●基準価額の推移



●1万口当たりの費用明細

項目	
売買委託手数料	8円
(株式)	(8)
有価証券取引税	3
(株式)	(3)
その他費用	76
(保管費用)	(75)
(その他)	(0)
合計	87円

※基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分、1万口当たりの費用明細は、組入マザーファンドの直近の決算日現在のものです。なお、費用項目については2ページの注記をご参照ください。

※運用経過については、運用報告書（全体版）をご参照ください。

●組入上位銘柄

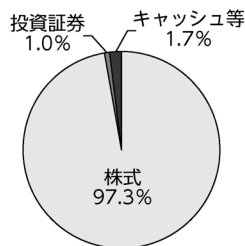
(組入銘柄数：66銘柄)

銘柄名	業種	国	通貨	比率(%)
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	韓国	韓国ウォン	7.2
TENCENT HOLDINGS LTD	ソフトウェア・サービス	ケイマン	香港ドル	6.0
ALIBABA GROUP HOLDING SP ADR	ソフトウェア・サービス	ケイマン	米国ドル	5.8
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	半導体・半導体製造装置	台湾	米国ドル	4.5
CHINA CONSTRUCTION BANK-H	銀行	中国	香港ドル	2.9
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	保険	中国	香港ドル	2.5
HDFC BANK LIMITED	銀行	インド	インド・ルピー	2.4
CIA BRASILEIRA DE DIS-SP PRF	食品・生活必需品小売り	ブラジル	米国ドル	2.2
LUKOIL PJSC-SPON ADR	エネルギー	ロシア	米国ドル	2.2
KWG GROUP HOLDINGS LTD	不動産	ケイマン	香港ドル	2.0

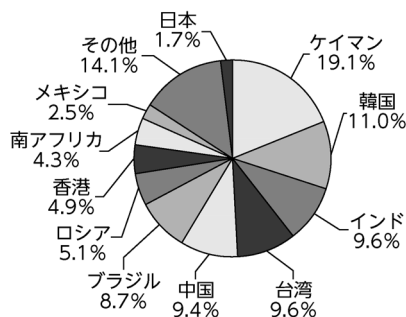
※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

※全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

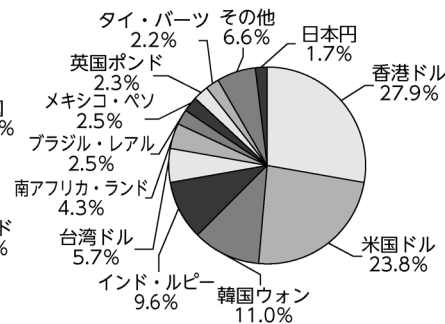
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



※比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。